

現行	改正案
<p>- 2 財務の健全性</p> <p>- 2 - 1 責任準備金等の積立の適切性</p> <p>- 2 - 1 - 2 積立方式</p> <p>(1)～(7) (略)</p> <p>(8) <u>第三分野保険における予定死亡率</u></p> <p><u>第三分野保険については、被保険者集団の特性や生存保障性を考慮した死亡率を使用して積み立てを行っているか。</u></p> <p>保険商品審査上の留意点等</p> <p>保険会社から法の規定に基づき、生命保険又は損害保険に係る新商品の創設もしくは既存商品の改定に係る認可申請・届出が行われた場合の審査に当たっては、各保険会社の創意工夫を活かし、保険契約者のニーズの変化に即応した迅速な商品開発を可能とする観点も踏まえ、法第5条第1項第3号及び第4号並びに規則第11条及び第12条に基づき審査を行うこととし、特に以下の点に留意することとする。</p> <p>- 1 共通事項</p> <p>(略)</p> <p>(新設)</p> <p><u>- 1 - 1 (略)</u></p> <p>- 1 - 3 ～ - 1 - 9 (略)</p> <p>- 1 - 10 解約返戻金の開示方法</p> <p><u>解約返戻金については、保険契約者等に明瞭に開示するため、保険証券等に表示するか、又は、解約返戻金例表等を約款に掲載するなどの措置が講じられているか。</u></p> <p>- 1 - 11 (略)</p>	<p>- 2 財務の健全性</p> <p>- 2 - 1 責任準備金等の積立の適切性</p> <p>- 2 - 1 - 2 積立方式</p> <p>(1)～(7) (略)</p> <p>(削除)</p> <p>保険商品審査上の留意点等</p> <p>保険会社および保険会社になろうとする者(以下、<u> </u>において「保険会社」という。)から法の規定に基づき、生命保険又は損害保険に係る新商品の創設もしくは既存商品の改定に係る認可申請・届出が行われた場合の審査に当たっては、各保険会社の創意工夫を活かし、保険契約者のニーズの変化に即応した迅速な商品開発を可能とする観点も踏まえ、法第5条第1項第3号及び第4号並びに規則第11条及び第12条に基づき審査を行うこととし、特に以下の点に留意することとする。</p> <p>- 1 共通事項</p> <p>(同左)</p> <p><u>- 1 - 1 普通保険約款及び特約の記載事項について</u></p> <p><u>普通保険約款及び特約の記載事項については、保険契約者等の保護の観点から、明確かつ平易で、簡素なものとなっているかに留意することとする。</u></p> <p><u>- 1 - 2 (同左)</u></p> <p>(同左)</p> <p>- 1 - 10 解約返戻金の開示方法</p> <p><u>解約返戻金については、例えば、金額を保険証券等に表示する、計算方法等を約款等に掲載するなど、保険契約者等に明瞭に開示するための措置を講じているか。</u></p> <p>- 1 - 11 (同左)</p>

現行	改正案
<p>- 1 - 1 2 ステップアップ払込方式 <u>保険料額を上昇させる度合いについては、給付水準との関係で、契約当初の低い保険料水準であっても、責任準備金が負値とならないように設定されているか。</u> <u>ステップアップ払込方式…契約当初の一定期間（例えば10年、15年）に払い込む保険料を少なくし、その後の期間は契約当初より増額した保険料（例えば1.3倍、1.5倍）を払い込むように、保険料を段階的に設定する方式</u></p> <p>- 1 - 1 3 （略）</p> <p>- 1 - 1 4 （略）</p> <p>- 1 - 1 5 （略）</p> <p>- 1 - 1 6 （略）</p> <p>- 1 - 1 7 （略）</p>	<p>（ - 5 - 2に移設）</p> <p>- 1 - 1 2 （同左）</p> <p>- 1 - 1 3 （同左）</p> <p>- 1 - 1 4 （同左）</p> <p>- 1 - 1 5 （同左）</p> <p>- 1 - 1 6 （同左）</p>
<p>- 2 第一分野 （略）</p> <p>- 2 - 1（略）</p> <p>- 2 - 2 逡減定期保険 <u>逡減定期保険については、責任準備金の負値が発生していないか。なお、責任準備金の計算上、負値となる契約が生じ、当該契約に係る責任準備金をゼロとする対応をとる場合においては、財務の健全性確保に関する十分な検討がなされているかに留意する必要がある。</u></p> <p>- 2 - 3（略）</p>	<p>- 2 第一分野 （同左）</p> <p>- 2 - 1（同左）</p> <p>（ - 5 - 2に移設）</p> <p>- 2 - 2（同左）</p>

現行	改正案
<p>- 3 第二分野 (略)</p> <p>- 3 - 1 ~ - 3 - 5 (略)</p> <p>- 4 第三分野 (略)</p> <p>- 4 - 1 ~ - 4 - 2 (略)</p> <p>- 4 - 3 保険金等の支払時における契約者等の保護のための措置 (略)</p> <p>- 5 保険数理</p> <p>- 5 - 1 保険料 (1)(2) (略)</p> <p>(3) 予定発生率・損害額又は予定解約率等については、基礎データに基づいて合理的に算出が行われ、かつ、基礎データの信頼度に応じた補正が行われているか。 また、第三分野保険において使用する死亡率については、被保険者集団の特性や生存保障性を考慮した <u>ものとなっているか。</u></p> <p>(4)~(7) (略)</p> <p>- 5 - 2 責任準備金 責任準備金の審査に当たっては、「 - 2 - 1 - 2 積立方式」に規定する事項について、特に留意することとする。</p> <p>(- 1 - 1 2 及び - 2 - 2 から移設)</p> <p>- 5 - 3 ~ - 5 - 6 (略)</p>	<p>- 3 第二分野 (同左)</p> <p>(同左)</p> <p>- 4 第三分野 (同左)</p> <p>(同左)</p> <p>- 4 - 3 保険金等の支払時における<u>保険</u>契約者等の保護のための措置 (略)</p> <p>- 5 保険数理</p> <p>(同左)</p> <p>(同左)</p> <p>(3) 予定発生率・損害額又は予定解約率等については、基礎データに基づいて合理的に算出が行われ、かつ、基礎データの信頼度に応じた補正が行われているか。 (削除)</p> <p>(同左)</p> <p>- 5 - 2 責任準備金 (1) 責任準備金の審査に当たっては、「 - 2 - 1 - 2 積立方式」に規定する事項について、特に留意することとする。 (2) <u>商品の設計上、契約期間初期の給付を大きくすること若しくは将来の給付を減少させることまたは保険料を後払いにすることについては、責任準備金が負値とならないように設定されているか。なお、責任準備金の計算上、負値となる契約に係る責任準備金をゼロとする対応をとる場合においては、財務の健全性確保に関する十分な検討がなされているかに留意する。</u></p> <p>(同左)</p>

現行	改正案
<p>- 6 審査手続</p> <p>- 6 - 1 ~ - 6 - 2 (略)</p> <p>. 日本アクチュアリー会関係</p> <p>- 1 - 1 ~ - 1 - 2 (略)</p> <p>- 1 - 3 委託業務 (1) ~ (3) (略) (4) 係数及び基準のレビューの仕組み 係数及び基準は、保険事業環境の変化その他の事情に応じて見直されているか。</p>	<p>- 6 審査手続</p> <p>(同左)</p> <p><u>アクチュアリー会関係</u></p> <p>(同左)</p> <p>- 1 - 3 委託業務 (同左) (4) 係数及び基準のレビューの仕組み 係数及び基準は、保険事業環境の変化その他の事情に応じて見直されているか。<u>なお、係数については、毎年その水準の妥当性について確認を行うとともに、その結果を公表しているか。</u></p>